

# 令和元年「<sup>あまのかぐやまはにやき</sup>天香山埴焼奉製会」開催のお知らせ

天香久山は古事記、日本書紀、万葉集などに多く登場し、日本の発祥の大変古い時代に大和の国に都が置かれていた時代から現代に至るまで、聖なる山として大切にされて来ました。<sup>あまのかぐやま</sup>天香久山は古典では「天香山」と記します。天照大神の天岩戸隠れの神話や、初代神武天皇が大和朝廷を橿原の地に開く際に、天香久山の土である「<sup>はに</sup>埴」で焼物を作ったことが知られています。

神武天皇は九州の日向から、橿原の地に朝廷を開くために東へ向かい、吉野に入った所で「天香山の埴を取り、焼き物を作って、八百万の神をお祀りすれば、おのずと道が開かれる」と夢の中でお告げを受けました。これを実行しようと天香久山へ向かいましたが、山の周りには多くの敵がいたので、神武天皇は部下二人を、おじいさんとおばあさんの姿に変えて入山させるという、わが国最初の仮装ともいえるき事を行いました。

その結果、無事に埴を採万の神々を祭り、大和朝廷



天香山はもともと天上界に

来たと伝承され、天香久山にか

とっており、往古の昔より天香久山は天上界に大変近い存在、大いなる力の元として、国そのものを表す物実<sup>ものしろ</sup>として認識されています。<sup>あまのかぐやま</sup>「白埴御神地」がある天香久山を擁する南浦町鎮座の天香山神社は、<sup>うらない</sup>卜占の神として天香久山北麓の磐座に鎮座しており（令和元年の大嘗祭の斎田点定の儀に際し波波迦木を宮中三殿へ献進）、また、「赤埴御神地」がある天香久山西麓の下八釣町鎮座の<sup>うねおにますたけはにやす</sup>畝尾坐健土安神社は埴の神を祀り、赤埴山に隣接して鎮座していますが、この度、両神社では新元号元年を祝し本年より、神武天皇の埴採りの神話にもとづき神事を行い「天香山埴焼奉製会」を開催する運びとなりました。この機会に土器作陶を通し、太古から続く神話の世界を体感頂ければ幸いです。

「<sup>ぼくじょう</sup>卜定神事」 8月1日(木) 10時 於：天香山神社

・埴採式の採取場所と点火式の点火場所を占う神事

「<sup>はにとり</sup>埴採神事」 10月1日(火)

・「白埴御神地」より埴を採る神事 10時 於：天香山神社

・「赤埴御神地」より埴を採る神事 14時 於：畝尾坐健土安神社

「<sup>ひいれ</sup>火入神事」 11月9日(土) 9時30分 於：畝尾坐健土安神社

・畝尾坐健土安神社で採火式後、野焼き会場へ行列、野窯へ点火

## 参加者募集要項

本年より、「埴」の神を祀る氏神様の火をいただき、「野焼き」を開催します。

野焼きとは、粘土で作った物をたき火で焼く、最も原始的な焼き物づくりの方法です。そのため焼成途中で破損してしまうものも多くあり、完成してもそのままでは湯飲みや茶碗などのような用途には適しません。それでも、そこには素朴な陶芸の原点があり、醍醐味でもあります。その点をご理解頂いた上で、ひとりひとりが作家として、また、自ら焚き木をくべ共に焼成を体験する仲間として参加者を募集します。



### ・「作陶会」

第一回 9/22(日) 第二回 10/20(日) 第三回 10/27(日)

※各日程とも午前10時～午後4時までの間に来場し、制作を完了して下さい。また、陶芸講師が同席しますので、わからないことがあればお気軽にお尋ね下さい。作陶後の作品は神社で自然乾燥し、「野焼き」当日までお預かりします。  
※野焼き用粘土(作り方の栞付)を購入し自宅で制作をされても結構です。

会 場：「下八釣町集会所」

持ち物：作業用服装、作品のイメージ、飲食物(必要に応じ弁当)、手ぬぐい

備 考：希望者数などにより作陶会日を集約させて頂く場合があります。



### ・「野焼き」 11/9(土)

※作品を焼く日ですので、全員参加して頂く日となります。  
※雨天、強風など、荒天により中止の場合は、11月10日(日)に延期します。  
なお、朝6時現在で中止決定をします。事務局にお問い合わせ下さい。

日 程：午前 9時00分 会場集合・受付後、各自作品の窯入れ

※9時30分「火入神事」開式 窯入れ後、よろしければご参列下さい。

10時00分 火入れ

午後 4時00分 窯だし・片づけ(午後5時頃解散予定)

会 場：「下八釣町広場」

持ち物：タオル、軍手、帽子、長靴(作業に適した履物)、敷物、水筒、弁当、おやつ、土器を入れて帰る梱包資材。注：自宅で制作される方は、作品を十分に乾燥させた上で「野焼き」当日持参下さい。未乾燥の作品は破裂する場合があります、焼成をご遠慮頂くことがあります。

備 考：・一日掛かりますので昼食は各自ご準備ください。当日はマルシェで飲食店等の出店もあり、広場での飲食は自由です。近くにコンビニもあります。・各自、食材を持ち寄り鍋やおでんなど、たき火を使って自炊も可能です。風や広場の混み具合により、場所指定させて頂きます。

# 令和元年「天香山埴焼奉製会」参加申込書

FAX 0744-22-5761 「天香山埴焼奉製会」実行委員会事務局 行

事務局使用欄				申込日	月	日
住所	〒 □□□-□□□□					
参加者氏名	フリガナ		フリガナ			
	お名前		お名前			
	フリガナ		フリガナ			
	お名前		お名前			
電話番号			FAX番号			
Eメール	@					
	参加人数		費用	計		
	大人	小人	大人(小人)			
第一回「作陶会」9/22	名	名	500円(300円)			
第二回「作陶会」10/20	名	名	500円(300円)			
第三回「作陶会」10/27	名	名	500円(300円)			
「野焼き」11/9	名	名	1,000円(500円)			
野焼き用粘土	※粘土1kgで、湯飲みぐらいの大きさの器が2~3個作れます。		350円 / 1kg ※作陶会参加者は300円			
総合計						

**参加費** 各「作陶会」500円／一人、「野焼き」1000円／一人(万一欠席されて、作品を焼くだけの場合も費用が必要です。イベント傷害共済加入費用を含む)。いずれも小学生(12歳)以下は割引があります。詳細は上記参加申込書をご参照下さい。参加費は事前又は当日徴収します。

**申込** FAX(この用紙に記入後送信して下さい)又はEメール(必要事項をお知らせ下さい)で、問い合わせ先まで申し込んで下さい。予定参加人数に達した時点で締め切ります。

- その他**
- ・小学生(12歳)以下は、必ず保護者が同伴して下さい。
  - ・お車は乗り合いで、畝尾坐健土安神社前駐車場、下八釣町広場に誘導に従って止めて下さい。
  - ・11月9日(土)「野焼き」開催日は、マルシェを同時開催しています。
  - ・当行事中のアルコール類の販売、飲酒はご遠慮下さい。ゴミは各自でお持ち帰り下さい。
  - ・マルシェ出店者も募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。



主 催 : 「天香山埴焼奉製会」実行委員会  
 共 催 : 天香山神社・畝尾坐健土安神社・造形工房 埴(TAO)  
 後 援 : 檀原市・檀原市教育委員会・一般社団法人 日本神話協会  
 問い合わせ : 「天香山埴焼奉製会」実行委員会 事務局 担当: 山尾

HP : 造形工房 埴(TAO) <https://www.asukanet.gr.jp/tao/>

電話 : 0744-22-5761 ☑ : [haniyasu\\_shrine@yahoo.co.jp](mailto:haniyasu_shrine@yahoo.co.jp)